

# 大西一史熊本市長の資金管理団体「新世代政経懇話会」 【上野みえこ議員の一般質問】 「虚偽記載」と指摘される収支報告書は、「政治資金規正法」違反？

## 「参加者数」をパーティー収支に書けば、虚偽記載 総務省見解「対価の支払いをした者の数は、参加者数ではない」

大西市長の資金管理団体「新世代政経懇話会」収支報告書では、『対価の支払いをした者の数』欄に「参加者数」を記載しています。総務省の見解は「参加者数ではない」であり、神戸学院大学・上脇博之教授も「参加者数では虚

偽」という見解です。

2022年の特定パーティ収入は1,157万円、大口分180万円を引くと977万円、977人分です。一方、市長は「対価の支払者数」に1,052人と記載。合わない数字を参加者数でごまかしてきました。

## 脱法的なパーティー券購入の企業と、多額の随意契約

政治資金規正法には「何人も政治資金パーティの対価の支払は150万円を超えてはいけない」との制限があります。

市長の2022年特定パーティでは、Oセンター130万円・H産廃50万円、合計180万円の大口購入をしています。しかし、この2

社は同一グループの構成企業です。それぞれは150万円以下の購入でも、グループ企業としては違法な180万円の寄付額であり、脱法的なパーティー券購入と言えます。

しかも、Oセンターとは2022年度約1億7千万円、2023年度約3,600万円の随意契約をしています。

## 「まずい」と思ったからでしょうか？ 前年までの「会社住所」の大半を「会社以外」に書き換え

11月27日に公表された2024年度政治資金収支報告で、大西市長の資金管理団体収支報告書「寄附欄」を見ると、長年「企業住所」で寄附してきた会社役員の住所の約8割が「企業住所ではないところ」へ変更されていました。

日本共産党市議団は議会で「会社役員の寄附が、企業住所では企業献金が疑われる」と指摘してきました。

市長は、「企業住所での寄附に問題はない」と説明してきましたが、今回の訂正は「まずい」からの変更にはなりません。

## 弁護士による「無料法律相談」のご案内

日本共産党が毎月定例で行っている無料の法律相談です。どなたでもご利用できます。また、生活相談も合わせて行っています。「事前予約制」です。ご希望の日時に電話予約をお願いします。

- 12月17日（水） 午前10時～12時  
中央区・たんぽぽ法律事務所（大江5-16-1-1F） ☎328-2656
- 12月20日（土） 午後6時～8時  
北区生活相談所（武蔵ヶ丘1-10-1） ☎338-2001
- 12月26日（金） 午後3時～5時  
東区生活相談所（新生2-5-18ハイツふかだ1F） ☎328-2656
- 2026年1月8日（木） 午後1時～4時  
南区・菜の花法律事務所（南区江越1-17-12） ☎322-7731
- 2026年1月13日（火） 午前10時～午後4時  
西区・さくら法律事務所（京町本丁1-22） ☎090-8667-3148

日本共産党  
熊本市議会だより

NO. 1437  
2025年12月14日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047



熊本市中央区手取本町1-1 メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
発行：日本共産党熊本市議団 HP：共産党 熊本市議団

検索



上野みえこ  
（中央区）



いせり栄次  
（東区）



# 熊本が「攻撃対象」になる危険

## 健軍自衛隊への長射程ミサイル配備・弾薬庫新設・司令部地下化

上野みえこ議員は、12月3日の一般質問で「ミサイル配備」による健軍自衛隊の軍事強化の危険を指摘

### 住宅地のだ真ん中への「ミサイル配備」

半径2キロに、小学校14・中学校8、幼稚園保育所等94施設

健軍自衛隊に配備される長射程ミサイルは他国のミサイル基地などを破壊する敵基地攻撃能力を持ち、配備されれば熊本が攻撃目標になります。その裏付けが健軍自衛隊司令部地下化です。併せて、新弾薬庫建設もすすめられており、ミサイル配備と弾薬保管が一体となった極めて危険なものです。

市長は上野議員の質問に、「健軍駐屯地から2キロ圏内に、小学校8校、中学校8校、高校5校、大学1校、支援学校3校、幼稚園保育所等94施設がある」と答弁しました。教育・福祉施設が集中する住宅地のだ真ん中への長射程ミサイル配備は極めて危険であり、中止すべきです。

### 防衛力強化方針に基づく「新弾薬庫建設」

市民病院との「保安距離」は確保されるのか？

防衛省の公表資料では、現在ある8棟の火薬庫すべて解体、鉄筋コンクリート造地上覆土式火薬庫が2棟建設されます。

弾薬庫整備の安全性基準は、第1種保安物件である病院との距離が「火薬貯蔵量40トンの

場合、550mの保安距離を確保しなければならない」となっています。健軍自衛隊に隣接する市民病院から弾薬庫の距離は200m程度です。保管される火薬量が軍事秘密なので、安全性の確保は確認できません。

### 全国でどこでも開催の「住民説明会」、熊本でも

健軍商店街での1,200人集会など、高まる世論

11月9日、地元・健軍商店街でミサイル配備中止を求める1,200人集会が開かれました。TBSは報道特集で全国放映、地元紙アンケートでは市民約6割が「容認しない」の回答。

鹿児島県西之表市馬毛島の自衛隊基地建設で19回、宮崎県・新田原基地F35Bステルス

戦闘機配備で新富町・西都市・宮崎市の9カ所、大分分屯地の大型弾薬庫計画で大分市など、各地で住民説明会が開かれています。複合防衛拠点整備を推進する呉市も開催しています。

全国どこでも開いている「住民説明会」を、熊本市でも市長の責任で開催すべきです。

### 自治体の積極的な平和行政推進へ

### 熊本市でも「平和推進条例」の制定を

神奈川県藤沢市・兵庫県宝塚市・北海道苫小牧市・長崎県時津町の「核兵器廃絶平和推進に関する条例」、東京都・中野区・三鷹市、千葉県我孫子市などの平和行政・平和施策推進条例など、全国で「平和条例」を制定する自治体が広がっています。

国の軍拡のもと、平和が脅かされる事態がすすんでいます。上野議員は、熊本市でも非核三原則を重要な原則と位置づけ、自治体の積極的な平和行政を推進する平和条例を制定するよう求めました。市長は、「検討していく」と答弁しました。